

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Rosele Association CLUB V			
○保護者評価実施期間	令和 6 年 12 月 9 日		～	令和 7 年 1 月 17 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	令和 6 年 12 月 9 日		～	令和 6 年 12 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 1 月 28 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	月の初めに、曜日ごとの活動と担当者を計画して支援している。また、月毎に活動を変えて取り組んでいる	朝礼や個別支援会議で、児童一人一人の活動の様子や課題について検討し、支援内容の見直しを図る
2	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っている	活動では、子供たちが活動の目標や順番、チーム編成を決める機会を作っている	季節の行事や外出活動について、子どもたちと一緒に企画し、子どもたちの意見を活動に反映させる
3	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されている	・虐待防止などの外部研修を受講している。 ・法人内で委員会を設置し、研修を行なっている（支援向上、感染・虐待防止、安全）また、法人グループ内で社内実地指導を行い、他の事業所から書類のチェックやアドバイスを受けている	外部研修や委員会を体系化して、人材育成を計画的に行う

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援や、保護者会の開催などによる保護者同士の連携が十分ではない	・保護者同士が交流する行事の内容を企画できていない（療育プログラムの説明会、ペアレント・トレーニングなど）	保護者参加の行事（音楽祭やスポーツフェスティバル）で交流できるように、行事内容を検討していきます
2	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等が十分ではない	・県や療育センターなどが主催する家族向けの研修について情報が少ない ・法人内で家族向けの研修会を企画できていない	・相談事業所と連携して、県や療育センターなどから家族向けの研修の情報を収集していく ・家族より相談がある場合は、その都度アドバイスを行ない、事例をまとめて研修会を企画する
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会が少ない	・地域の子どもと活動する機会を計画できていない ・感染症対策や個人のプライバシーにより活動が制限されている	・法人内の多事業所との交流活動や、日頃の公園活動で地域の児童との関わりを計画的に行なっていく